

# THE HIRAMATSU 京都

THE HIRAMATSU KYOTO

No. 03-063-2020作成

新築／改修、保存  
ホテル

発注者	NTT都市開発株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB
設計・監理	株式会社日建設・株式会社大林組一級建築士事務所 NIKKEN Sekkei, Ltd. OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社大林組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 京町家の歴史的価値の継承と発展

### 計画概要

京都の歴史と文化が息づく祇園祭の山鉦町に建つ、明治32年築の京町家を施設の一部として保存活用したホテルの計画。京町家は保存修復や維持管理の難しさから、高層ビルに建替わる事案が多いが、その佇まいはまちが重ねた歴史を表徴し、手技による仕上や空間は、継承すべき文化を内包する。本計画では町家建築の平面構成を踏襲し、光と風、緑の演出要素を組合せ、庭と建築、インテリアを統合して、新旧が融合した美しい空間性と生活様式を施設の中に再構築した。既存建屋の生捕材は丹念に調査して腐朽を修復し、新築建物に取込んでいる。歴史ある建物に敬意を払い、不足なく余すことなく素材も作法も活し切る。そうしたことが次代へと繋がってゆくことを願っている。

### 設計趣旨

#### 京町家を「のこす」

保存、修景 / 母屋の軸組保存 / 形態復元の手法により、京町家の本質的価値を継承するホテルとして既存建屋を機能再生した。

#### 既存と新築の融合

既存部は主、新設部は従として融合させ、以前からこの場所にあったかのような、それでいて新しい街の景色を創出することを目指した。

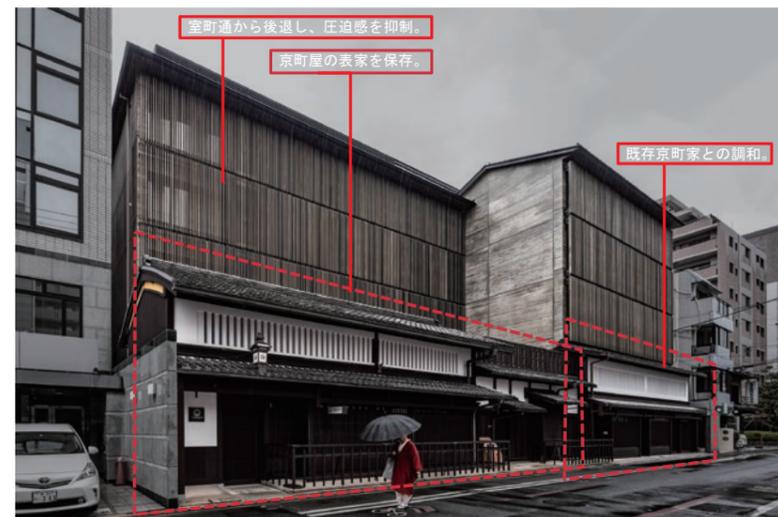
#### 庭屋一如 - 庭と建物の一体化-

建物と一体化した庭を配し、空間に光や風、緑等の自然を現代的に取入れ、京町家の生活空間にながれる美意識の継承を意図した。



撮影 Akira Ito/aifoto

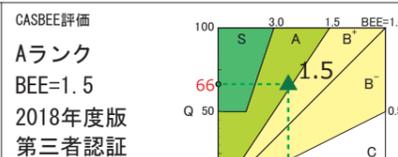
室町通り外観



撮影 Akira Ito/aifoto

建物データ	所在地	京都府京都市
	竣工年	2020年
	敷地面積	1,185㎡
	延床面積	3,999㎡
	構造	RC造一部木造
	階数	地上5階

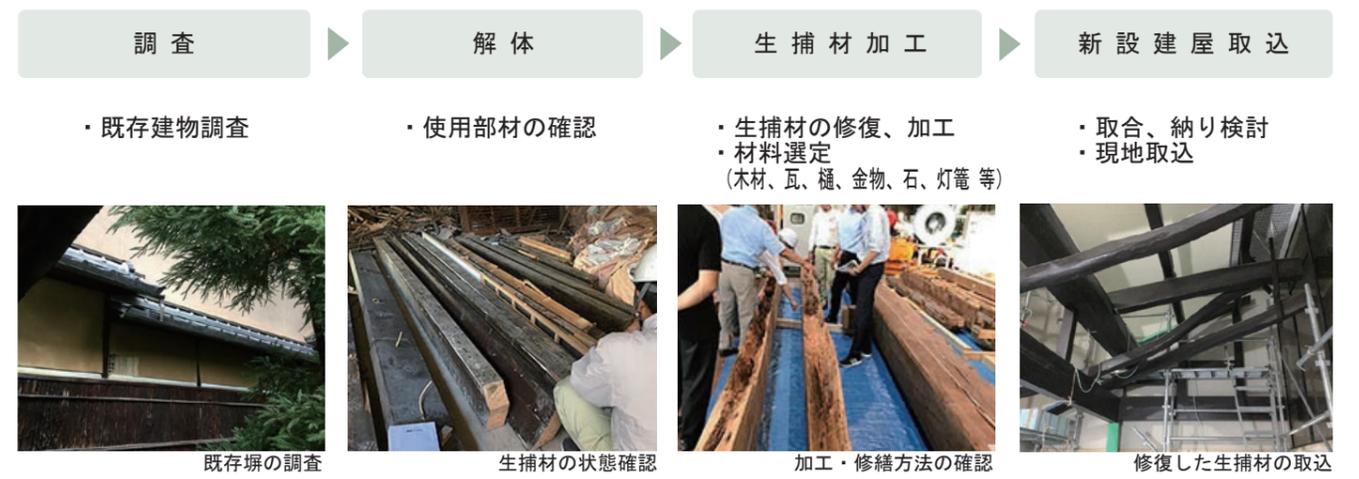
省エネルギー性能	LCCO <sub>2</sub> 削減	13.5 %
----------	----------------------	--------



### 調査と修復による古材利用

既存建物の調査を行いながら、解体をすすめ、材料選定、埋蔵文化財の調査を経て、建築工事に着手した。

築100年超の京町家をホテルに機能再生して長く使うために、生捕材はそのまま保存できるどころ、部材だけでも再利用できるどころ、腐朽の修復が必要などを見定め、一つ一つを丹念に修復加工して新設建屋に取込んだ。



- 店の間（フロント）  
かつての「店の間」を利用したフロントがある表家。構造補強を行い、糸屋格子の出格子の表構えをそのままに、気密断熱性能を付加した。  
撮影 Forward Stroke Ink.
- 前庭  
保存修復した既存の「店の間」と新設のホテル棟をつなぐ松籟の前庭の設え。前庭を介して新と旧、内と外をつなぐ。  
撮影 Forward Stroke Ink.
- 走り庭  
保存した表家から復元した土蔵をつなぐ走り庭。既存利用の敷石や一二三石は現場で仮組して敷設。  
撮影 Forward Stroke Ink.
- 土蔵・後庭  
客室フロアまでまっすぐのびる竹が光を集め建物内にやさしく差し込む「縦の庭」。延段は既存の生捕材を修復して再利用した。  
撮影 Forward Stroke Ink.
- 土蔵  
形態保存した土蔵。構造材や建築金物を生かし取りしてインテリアに利用。  
撮影 Forward Stroke Ink.
- 主家（レストラン）  
既存の主屋の構造架構を生かし取りした上で、調査、修復し、同じ場所にインテリアとして再現した。  
撮影 Forward Stroke Ink.

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物配置や形態のまちなみとの調和、新たなシンボルの形成)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (BPI性能向上、高断熱)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (格子状ルーバーの採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (BEIの向上、LED照明)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (リサイクル材の使用、部材再利用可能性向上の取組)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮 (LCCO<sub>2</sub>削減)